

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	設計製図4	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	建築設計科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位			授業形態	実習
教科書/教材	初学者の建築講座-建築計画（第3版）、第3版コンパクト設計資料集成（丸善）、建築製図 基本の基本（学芸出版社）／配布資料				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	小林 郁夫 他	実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士		
<b>学習目的</b>					
この授業では、2年間の集大成として卒業制作を行う。1年次からの講義系の科目・実習系の科目を総合して、ひとつのプロジェクトを設計する。敷地・概要などを自分で設定し、能動的能力を高める。各自でスケジュール管理し自分自身のマネージメントをすることで、社会へ出てからも自分でスケジュール管理できるようになることを目的とする。					
<b>到達目標</b>					
この授業では、公共建築物をテーマにする場合は基本設計レベル(ダイアグラム、配置図、平面図、断面図、立面図、3Dモデル等)をまとめる能力を身につけることを目標とし、住宅系建築物をテーマにする場合は構造・法規をふまえて上で実施設計レベル(基本建築図面、軸組み図、構造伏図、矩計図、建具表等)の能力を身につけることを目標としている。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	この授業では、各自が自主的に課題を考え、スケジュール管理をしていく。各スタジオの担当教員とディスカッションを繰り返すことにより、作品の密度を高めていく。講評会を何度か行うことにより発表する能力も身につけていく。				
注意点	この授業では、段階に進めていくことを第一としている。遅刻・欠席することなく履修すること。実習においては学生と講師のコミュニケーションを多くとり、理解度と想像力を高めることを目的としている。そのためにも、エスキス・スタディーを授業前には準備をして取り組むことを求めている。また、実際の仕事においては期日を守ることが最優先される。したがって記述内にしっかりと成果物を提出することが求められる。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	70%	設計課題を総合的に評価する		
	出席状況	20%	時間を守り授業の取り組み度合いを評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	建築概要の検討・敷地選定	敷地・テーマの選定（問題発見）・エスキス			
2回	建築概要の決定、敷地の調査	敷地・テーマの調査（建築概要の検討）			
3回	建築概要の決定	敷地・テーマの調査（建築概要の検討）、建築概要の決定			
4回	建築概要・敷地調査 発表講評会	各自で調査・決定した内容の発表・聴講			
5回	基本設計①	案の骨格検討			
6回	基本設計②	案の骨格検討			
7回	基本設計③	案の骨格検討			
8回	プランの決定	基本案の検討終了			
9回	ダイアグラム、プランのまとめ	配置図・平面図・断面図、スケッチ等の作成			
10回	講評会	午前（各スタジオ）・午後（全体発表会）			
11回	各種図面作成	立面図・断面図・構造図等作成／模型(冬期休暇中制作)			
12回	各種図面作成	パース、3D図面等作成／模型作成			
13回	模型作成	図面、模型のブラッシュアップ			
14回	模型作成	図面、模型のブラッシュアップ			
15回	講評会	午前（各スタジオ）・午後（全体発表会）			